

8月22日の海外相場

COMEX/NYMEX (\$)	Gold (Dec)	Silver (Sep)	Platinum (Oct)	Palladium (Sep)
Open	1,512.4	17.115	854.9	1,463.4
High	1,514.6	17.130	863.4	1,486.7
Low	1,502.1	16.915	848.1	1,452.6
Settlement	1,508.5	17.040	861.9	1,485.2
Change	-7.2	-0.111	3.8	19.7
EFP	9.65 9.75	-0.033 -0.027	1.85 2.50	-10.00 -8.50

Fixing Prices

LBMA/LPPM Fixing (\$)	AM	PM
Gold	1,498.70	1,502.05
Silver	16.960	
Platinum	850.00	855.00
Palladium	1,467.00	1,478.00

コメント

Precious Metals

ゴールド・シルバーは略横ばい、プラチナ・パラジウムは上昇した。欧州時間序盤は欧州の購買担当者景気指数が市場予想を上回ったことからリスクセンチメントが改善する中でゴールドは下落した。米国時間は低調な8月購買担当者景気指数を受けてゴールドは一時上昇した。然し乍、カンザスシティ地区連銀のジョージ総裁とフィラデルフィア地区連銀のハーカー総裁が現時点で追加利下げの必要はないとの考えを表明し、利下げを巡りFRB内部の意見が大きく割れていたことが明らかになったことを受け、ゴールドは反落した。マーケットはパウエルFRB議長が23日にジャクソンホールで行う講演に注目が集まっており、大幅な追加利下げへの示唆があれば、ゴールドの支援材料となる見通。シルバーはゴールドと略同様の値動きを見せており、\$17/oz近辺で推移している。プラチナ・パラジウムは共にファンダメンタルズの要素ではなく、テクニカルの要素で上昇した。

FX

ドルは主要通貨に対して下落した。欧州時間は8月のユーロ圏購買担当者景気指数が市場予想より上回ったことを受け、ユーロは対ドルで強含んだ。英国のEU離脱の協定案で争点になっているアイルランド国境問題を巡り、ドイツのメルケル首相が10月末の期限までに解決策が見つかる可能性があるとして述べたことからポンドが対ドルで上昇した。FRB高官らのタカ派発言を受けてドル買いが入ったが、8月購買担当者景気指数は市場予想を下回り、50割れとなったほか、米国債長短金利が一時逆転したことを背景に、景気後退懸念が再燃し、ドル売りが優勢となった。ドル/円終値106.45、ユーロ/ドル終値は1.1081。

8月19日 週の経済指標一覧

		Thu	Fri
USA		7月 中古住宅販売件数 前 -1.7% 予 2.2%	7月 新築住宅販売件数 前 7.0% 予 -0.9%
		FOMC議事要旨	パウエルFRB議長発言
			8月 購買担当者景気指数 前 52.6
Asia	JP 7月 貿易統計 前 5895億円 予 -2100億円		JP 7月 全国消費者物価指数 前 0.7% 予 0.6%
Europe	EU 7月 消費者物価指数 前 1.1% 予 1.1%		EU 8月 購買担当者景気指数 前 46.5 予 46.5
			EU ECB理事会議事要旨
			EU 8月 消費者信頼感 前 -6.6 予 -6.8

Source: Bloomberg

COMEX/NYMEX 投機的建玉

2019/8/17	Gold (Moz)	Silver (Moz)	Platinum ('000 oz)	Palladium ('000 oz)
Long	41.0	670.3	2,822.5	1,537.4
Short	8.6	344.2	1,361.7	2,294.4
Net	32.4	326.2	1,460.9	-757.0
Change	1.5	38.0	37.9	-24.2

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。

当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。